



平成28年10月28日

各 位

会 社 名： 住江織物株式会社  
代表者名： 取締役会長兼社長 吉川 一三  
(コード番号：3501 東証第一部)  
問合せ先： 執行役員経営企画室部長 新實 啓悦  
(TEL 06-6251-6803)

(訂正・数値データ訂正)「平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成28年4月12日に開示いたしました「平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年10月28日付「過年度の決算短信および四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月12日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室部長 (氏名) 新實 啓悦 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	72,719	9.0	1,816	△5.5	2,030	△18.5	1,012	△25.9
27年5月期第3四半期	66,727	0.0	1,921	△5.4	2,489	1.3	1,365	11.0

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 △210百万円( —%) 27年5月期第3四半期 3,640百万円( 81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	<u>13.42</u>	—
27年5月期第3四半期	<u>18.10</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第3四半期	<u>88,528</u>	<u>38,356</u>	<u>38.7</u>
27年5月期	<u>90,126</u>	<u>39,204</u>	<u>39.0</u>

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 34,288百万円 27年5月期 35,169百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年5月期	—	3.50	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	7.5	3,800	22.5	4,280	14.7	2,590	42.6	34.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

※詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期3Q	76,821,626株	27年5月期	76,821,626株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	1,377,819株	27年5月期	1,374,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期3Q	75,445,164株	27年5月期3Q	75,451,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の拡大等で内需を中心に持ち直しが見られたものの、2016年の年初からは、世界経済への懸念と原油安の影響を受け、株安と円高が急激に進行し、大きな混乱をきたしました。海外では、米国は雇用環境が引き続き堅調となったものの、企業の設備投資に陰りが見え、また、中国経済の減速が新興国や資源輸出国へ波及する等、総じて不透明な状況が続きました。

このようななか、当期の第3四半期における連結業績は、売上高727億19百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益18億16百万円（同5.5%減）、経常利益20億30百万円（同18.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億12百万円（同25.9%減）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

## (インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件の増加に伴い、売上は前年同期を上回りました。水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」は、国内、海外輸出ともに堅調に推移し、売上を伸ばしました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットは、個人消費に伸び悩みが見えることや、例年に比べ寒さの深まりが遅かったため、売上は前年同期を下回りました。カーテンは、「mode S®（モードエス）Vol.7」および「デイズニーシリーズ」が好調を維持し、当期から本格投入したナチュラルテイストの新ブランド「cölne（コルネ）」も売上を伸ばしたほか、「U Life®（ユーライフ）Vol.8」も堅調に推移したため、売上は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム」、量産タイプの「ルノン・マークⅡ」がともに順調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高264億9百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益3億95百万円（同231.6%増）となりました。

## (自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内は新規に受注した車種が順調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りましたが、一部自動車メーカーの稼働停止があり、業績面で若干の影響を受けました。海外では米国において一時的な受注車種の減少がありましたが、当期買収した米国Bondtex社による販路拡大とメキシコでの新規事業立ち上がりによる売上の増加が進みました。また、タイとインドネシアでは、新規に受注した車種の立ち上がりにより、売上の拡大を図ることができました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件はなかったものの、新車製造の継続案件と民鉄のリニューアル改造工事が好調に推移し、加えて、シートの定期張替えも復調傾向となったため、売上を伸ばしました。バス向けは、新車発注が引き続き好調に推移しており、オプション仕様による高付加価値商材の需要拡大により、売上、営業利益ともに伸ばしました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高420億1百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益20億35百万円（同12.3%減）となりました。

## (機能資材事業)

機能性資材関連では、前年下期より本格生産となった浴室向け床材や、建築関連資材が好調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。ホットカーペットは、メーカー各社が慎重な品揃えとなったため、受注台数を落とし、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。消臭・フィルター関連は、海外向けフィルターが振るわず、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。太陽光電池向けシリコンインゴットのスライス事業は、受注先の減産を受け、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高41億91百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益1億77百万円（同38.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ15億97百万円減少し、885億28百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7億49百万円減少し、501億72百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ8億48百万円減少し、383億56百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成27年7月10日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益および費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加する見込みであることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,663	6,032
受取手形及び売掛金	23,618	23,705
有価証券	275	295
商品及び製品	9,248	10,264
仕掛品	1,591	1,661
原材料及び貯蔵品	3,349	4,058
その他	3,474	3,722
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	51,202	49,723
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,254	17,250
その他(純額)	9,789	9,415
有形固定資産合計	27,043	26,665
無形固定資産		
のれん	74	1,281
その他	420	431
無形固定資産合計	494	1,713
投資その他の資産		
投資有価証券	9,617	8,371
その他	1,914	2,205
貸倒引当金	△147	△150
投資その他の資産合計	11,384	10,426
固定資産合計	38,923	38,805
資産合計	90,126	88,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,744	18,786
短期借入金	11,456	11,587
未払法人税等	671	456
その他	4,918	3,593
流動負債合計	36,791	34,424
固定負債		
長期借入金	3,678	5,735
役員退職慰労引当金	286	311
退職給付に係る負債	3,856	3,910
その他	6,309	5,791
固定負債合計	14,130	15,748
負債合計	50,921	50,172
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	11,013	11,535
自己株式	△359	△360
株主資本合計	22,860	23,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,771	2,543
繰延ヘッジ損益	△2	△32
土地再評価差額金	7,588	7,588
為替換算調整勘定	1,157	993
退職給付に係る調整累計額	△205	△185
その他の包括利益累計額合計	12,308	10,906
非支配株主持分	4,035	4,067
純資産合計	39,204	38,356
負債純資産合計	90,126	88,528

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	66,727	72,719
売上原価	53,086	58,600
売上総利益	13,640	14,118
販売費及び一般管理費	11,718	12,302
営業利益	1,921	1,816
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	124	147
負ののれん償却額	44	—
持分法による投資利益	198	149
不動産賃貸料	175	177
その他	291	174
営業外収益合計	848	659
営業外費用		
支払利息	169	178
不動産賃貸費用	30	29
為替差損	—	149
その他	80	87
営業外費用合計	280	445
経常利益	2,489	2,030
特別利益		
固定資産売却益	31	4
特別利益合計	31	4
特別損失		
固定資産除売却損	8	110
その他	8	—
特別損失合計	17	110
税金等調整前四半期純利益	2,504	1,924
法人税、住民税及び事業税	600	765
法人税等調整額	274	△140
法人税等合計	875	625
四半期純利益	1,629	1,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	263	286
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,365	1,012

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	<u>1,629</u>	<u>1,298</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,000	△1,228
繰延ヘッジ損益	28	△51
為替換算調整勘定	<u>1,017</u>	<u>△271</u>
退職給付に係る調整額	20	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	22
その他の包括利益合計	<u>2,010</u>	<u>△1,509</u>
四半期包括利益	<u>3,640</u>	<u>△210</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>3,207</u>	<u>△389</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	<u>433</u>	<u>179</u>

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,282	<u>36,794</u>	4,541	<u>66,618</u>	109	<u>66,727</u>	—	<u>66,727</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	394	9	13	417	167	585	△585	—
計	25,676	<u>36,803</u>	4,555	<u>67,035</u>	277	<u>67,312</u>	△585	<u>66,727</u>
セグメント利益	119	<u>2,321</u>	287	<u>2,727</u>	52	<u>2,779</u>	△857	<u>1,921</u>

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△857百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,409	<u>42,001</u>	4,191	<u>72,603</u>	115	<u>72,719</u>	—	<u>72,719</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	5	12	426	193	620	△620	—
計	26,817	<u>42,007</u>	4,203	<u>73,029</u>	309	<u>73,339</u>	△620	<u>72,719</u>
セグメント利益	395	<u>2,035</u>	177	<u>2,608</u>	77	<u>2,685</u>	△869	<u>1,816</u>

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△869百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△889百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSuminoe Textile of America Corporationが、Bondtex, Inc.の株式を取得したため、「自動車・車両内装事業」のセグメントにてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は1,322百万円としておりますが、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(訂正前)



## 平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月12日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室部長 (氏名) 新實 啓悦 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	72,662	8.8	2,417	7.9	2,621	△6.7	1,402	△10.5
27年5月期第3四半期	66,807	0.1	2,241	1.1	2,809	6.3	1,568	16.0

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 156百万円(△96.0%) 27年5月期第3四半期 3,943百万円(82.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	18.59	—
27年5月期第3四半期	20.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第3四半期	89,669	39,533	39.5
27年5月期	90,929	40,015	39.5

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 35,377百万円 27年5月期 35,873百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年5月期	—	3.50	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	7.4	3,800	19.2	4,280	12.1	2,590	34.8	34.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

※詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年5月期3Q	76,821,626株	27年5月期	76,821,626株
28年5月期3Q	1,377,819株	27年5月期	1,374,982株
28年5月期3Q	75,445,164株	27年5月期3Q	75,451,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の拡大等で内需を中心に持ち直しが見られたものの、2016年の年初からは、世界経済への懸念と原油安の影響を受け、株安と円高が急激に進行し、大きな混乱をきたしました。海外では、米国は雇用環境が引き続き堅調となったものの、企業の設備投資に陰りが見え、また、中国経済の減速が新興国や資源輸出国へ波及する等、総じて不透明な状況が続きました。

このようななか、当期の第3四半期における連結業績は、売上高726億62百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益24億17百万円（同7.9%増）、経常利益26億21百万円（同6.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億2百万円（同10.5%減）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

## (インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、受注物件の増加に伴い、売上は前年同期を上回りました。水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」は、国内、海外輸出ともに堅調に推移し、売上を伸ばしました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットは、個人消費に伸び悩みが見えることや、例年に比べ寒さの深まりが遅かったため、売上は前年同期を下回りました。カーテンは、「mode S®（モードエス）Vol.7」および「デイズニーシリーズ」が好調を維持し、当期から本格投入したナチュラルテイストの新ブランド「cölne（コルネ）」も売上を伸ばしたほか、「U Life®（ユーライフ）Vol.8」も堅調に推移したため、売上は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム」、量産タイプの「ルノン・マークⅡ」がともに順調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高264億9百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益3億95百万円（同231.6%増）となりました。

## (自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内は新規に受注した車種が順調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りましたが、一部自動車メーカーの稼働停止があり、業績面で若干の影響を受けました。海外では米国において一時的な受注車種の減少がありましたが、当期買収した米国Bondtex社による販路拡大とメキシコでの新規事業立ち上がりによる売上の増加が進みました。また、タイとインドネシアでは、新規に受注した車種の立ち上がりにより、売上の拡大を図ることができました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件はなかったものの、新車製造の継続案件と民鉄のリニューアル改造工事が好調に推移し、加えて、シートの定期張替えも復調傾向となったため、売上を伸ばしました。バス向けは、新車発注が引き続き好調に推移しており、オプション仕様による高付加価値商材の需要拡大により、売上、営業利益ともに伸ばしました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高419億45百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益26億36百万円（同0.1%減）となりました。

## (機能資材事業)

機能性資材関連では、前年下期より本格生産となった浴室向け床材や、建築関連資材が好調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。ホットカーペットは、メーカー各社が慎重な品揃えとなったため、受注台数を落とし、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。消臭・フィルター関連は、海外向けフィルターが振るわず、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。太陽光電池向けシリコンインゴットのスライス事業は、受注先の減産を受け、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高41億91百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益1億77百万円（同38.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ12億60百万円減少し、896億69百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7億77百万円減少し、501億36百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少し、395億33百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成27年7月10日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益および費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が今後さらに増加する見込みであることから、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,663	6,032
受取手形及び売掛金	23,858	24,006
有価証券	275	295
商品及び製品	9,554	10,804
仕掛品	1,778	1,933
原材料及び貯蔵品	3,497	4,316
その他	3,485	3,832
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	52,095	51,203
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,254	17,250
その他(純額)	9,935	9,523
有形固定資産合計	27,189	26,774
無形固定資産		
のれん	74	1,281
その他	421	433
無形固定資産合計	495	1,715
投資その他の資産		
投資有価証券	9,617	8,371
その他	1,677	1,756
貸倒引当金	△147	△150
投資その他の資産合計	11,147	9,977
固定資産合計	38,833	38,466
資産合計	90,929	89,669

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,704	18,748
短期借入金	11,456	11,587
未払法人税等	671	456
その他	4,951	3,595
流動負債合計	36,783	34,387
固定負債		
長期借入金	3,678	5,735
役員退職慰労引当金	286	311
退職給付に係る負債	3,856	3,910
その他	6,309	5,791
固定負債合計	14,130	15,748
負債合計	50,914	50,136
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	11,550	12,463
自己株式	△359	△360
株主資本合計	23,397	24,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,771	2,543
繰延ヘッジ損益	△2	△32
土地再評価差額金	7,588	7,588
為替換算調整勘定	1,324	1,154
退職給付に係る調整累計額	△205	△185
その他の包括利益累計額合計	12,475	11,068
非支配株主持分	4,142	4,156
純資産合計	40,015	39,533
負債純資産合計	90,929	89,669

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	66,807	72,662
売上原価	52,847	57,966
売上総利益	13,960	14,696
販売費及び一般管理費	11,718	12,278
営業利益	2,241	2,417
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	124	147
負ののれん償却額	44	—
持分法による投資利益	198	149
不動産賃貸料	175	177
その他	291	174
営業外収益合計	848	659
営業外費用		
支払利息	169	178
不動産賃貸費用	30	29
為替差損	—	149
その他	80	96
営業外費用合計	280	454
経常利益	2,809	2,621
特別利益		
固定資産売却益	31	4
特別利益合計	31	4
特別損失		
固定資産除売却損	8	110
段階取得に係る差損	8	—
特別損失合計	17	110
税金等調整前四半期純利益	2,823	2,516
法人税、住民税及び事業税	600	765
法人税等調整額	378	74
法人税等合計	979	840
四半期純利益	1,844	1,675
非支配株主に帰属する四半期純利益	276	272
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,568	1,402

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	<u>1,629</u>	<u>1,298</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,000	△1,228
繰延ヘッジ損益	28	△51
為替換算調整勘定	<u>1,017</u>	<u>△271</u>
退職給付に係る調整額	20	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	22
その他の包括利益合計	<u>2,010</u>	<u>△1,509</u>
四半期包括利益	<u>3,640</u>	<u>△210</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>3,207</u>	<u>△389</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	<u>433</u>	<u>179</u>

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,282	<u>36,623</u>	3,860	<u>66,655</u>	92	<u>66,747</u>	—	<u>66,747</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	394	15	17	406	198	605	△605	—
計	25,676	<u>36,638</u>	3,878	<u>67,062</u>	290	<u>67,352</u>	△605	<u>66,747</u>
セグメント利益	119	<u>2,567</u>	51	<u>2,991</u>	44	<u>3,035</u>	△1,003	<u>2,031</u>

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。  
 2 セグメント利益の調整額△857百万円には、セグメント間取引消去18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円が含まれております。  
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,409	<u>42,001</u>	4,191	<u>72,603</u>	115	<u>72,719</u>	—	<u>72,719</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	5	12	426	193	620	△620	—
計	26,817	<u>42,007</u>	4,203	<u>73,029</u>	309	<u>73,339</u>	△620	<u>72,719</u>
セグメント利益	395	<u>2,035</u>	177	<u>2,608</u>	77	<u>2,685</u>	△869	<u>1,816</u>

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。  
 2 セグメント利益の調整額△869百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△889百万円が含まれております。  
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSuminoe Textile of America Corporationが、Bondtex, Inc.の株式を取得したため、「自動車・車両内装事業」のセグメントにてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は1,322百万円としておりますが、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。